

小児の言語臨床を担当されている  
言語聴覚士の皆様へ

自閉スペクトラム症（ASD）の早期療育と支援の実態に関するアンケート調査の  
ご協力をお願い

朝夕の涼しく心地よい風に、秋の訪れを感じる時期となりました。

私は、国際医療福祉大学大学院言語聴覚分野の王 梓諾（オウ シダク）と申します。中国黒竜江省の佳木斯大学附属病院で2019年3月まで言語聴覚士として勤務し、2019年4月に来日し、2021年4月より大学院修士課程に入学しました。

近年自閉スペクトラム症(ASD)児への早期介入により、対人コミュニケーション障害を改善することが報告されており、早期発見・早期介入の重要性が広く認識されています。

修士論文の作成のため、現在、日本と中国の「ASD児に対する医療機関における早期療育と支援の実態」について、アンケート調査を実施したいと考えております。アンケート調査へのご協力をどうかよろしくお願いたします。本研究は国際医療福祉大学倫理審査委員会の審査を受けて、実施しております。

調査対象：言語聴覚士（小児臨床の経験があり、医療機関に所属している方）

所要時間：10～15分程度

回答期限：2022年11月4日（金）

下記URLから回答ください。アンケートは2種類あります。

①言語聴覚部門主任者向け：こちらのアンケートでは、施設として2021年度の利用実績、対応方針等について御回答ください。

主任ST向け：<https://forms.gle/3kGBmoFU7ew8vdcy8>

②言語聴覚士個人向け：こちらでは各個人の状況等について御回答ください。

個人ST向け：<https://forms.gle/VJHmUsQv5rhYKCPMA>



主任ST向け：自閉スペクトラム症（ASD）の早期療育と支援の実態調査協力をお願い



ST向け：自閉スペクトラム症（ASD）の早期療育と支援の実態調査協力をお願い

個人情報厳重に管理し、個人情報保護法に基づいて万全を期します。今回、アンケートで得た情報は研究以外の目的に使用することはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、より良い自閉症児の早期支援を目指すための調査にご協力いただけましたら幸いです。

また、この調査はアンケートを広めることで、回答者を募集しています。

ご知り合いの同業者のSTに依頼し、このメッセージを、そのまま転送しご回答いただくようご協力いただけますと幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

<問い合わせ先>

研究実施者：

国際医療福祉大学 言語聴覚分野 王 梓諾（オウシダク）

E-mail:21s1019@iuhw.ac.jp

研究指導者

国際医療福祉大学 言語聴覚分野 教授 畦上恭彦

E-mail: yasuhiko@iuhw.ac.jp